



事例から学ぶ認知症ケア

2025年3月16日（日）新座市立中央公民館にて、事例検討を通じて認知症ケアを学びあう機会をもうけました。

初めての事例検討会

初めて事例検討会に出席し、事例発表させて頂きました。

この検討会では、講師から事例に対し、まずは「当事者は何に困っているか」を本人になりきって想像するという事で始まりました。本人がして欲しい事、周りがして欲しい事を分けて考える事が出来たと思います。

私が発表した事例を含め、もう1事例に「本人は困っていないのでは？周りの人間が困っているのでは？」という見解があり興味深かったです。

次に「この人に出来るサービスは何か？どんなサービスが必要なのか？」を考えたのですが、同じグループになった中にグループホーム職員・ケアマネ・地域包括支援センター職員がいた事もあり、公的サービスの手続きや訪問看護で出来る内容など、自分の日常業務とは別の話を聞くことが出来ました。

たくさんの事業所や様々な職種で、介護サービスを支えていることを実感する実り多い時間でした。

（デイホームえん／桑名円）

事例検討会に参加して



今回事例提出して思ったことは、その事業所内で無理やり答えを出す必要はないなということでした。私たちはグループホームとして一人の利用者さんについて検討内容の提起をしました。その検討内容についてグループワーク形式で話し合い、話し合った結果を発表しました。けれども当日は事業所内（グループホーム）だけでは考えなかったような意見がたくさん出ました。

今までは事業所内でミーティングという形でその方について話し合ってきました。今後は事業所外のスタッフにも相談という形で多角的な視点からの意見をもらえるように連携をとって、利用者さんにとってよりよい生活が送れるように支援していければと思います。

（グループホームえん／高岡・日浦）